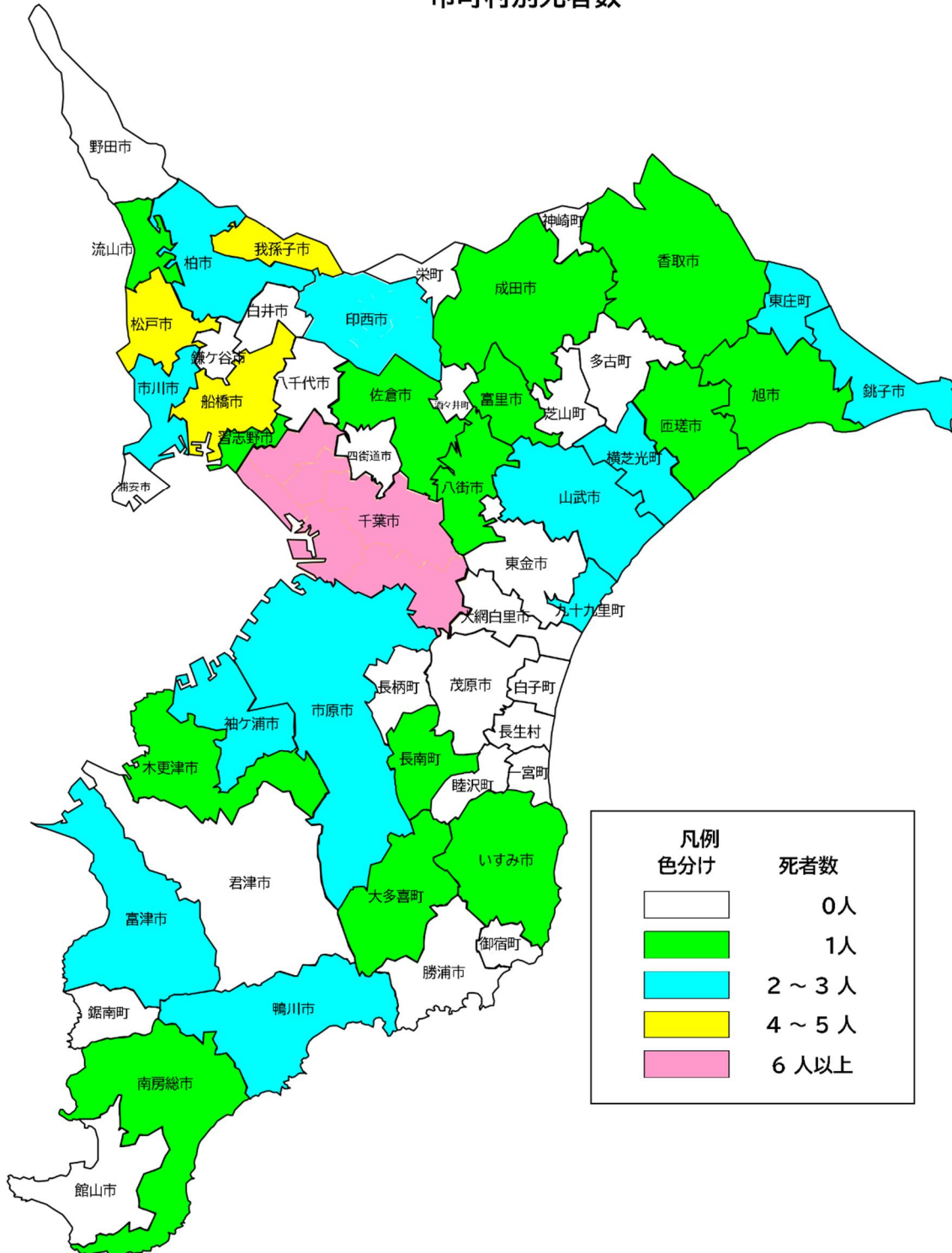


令和7年中の高齢者交通死亡事故発生状況（詳細）

1 市町村別死者数

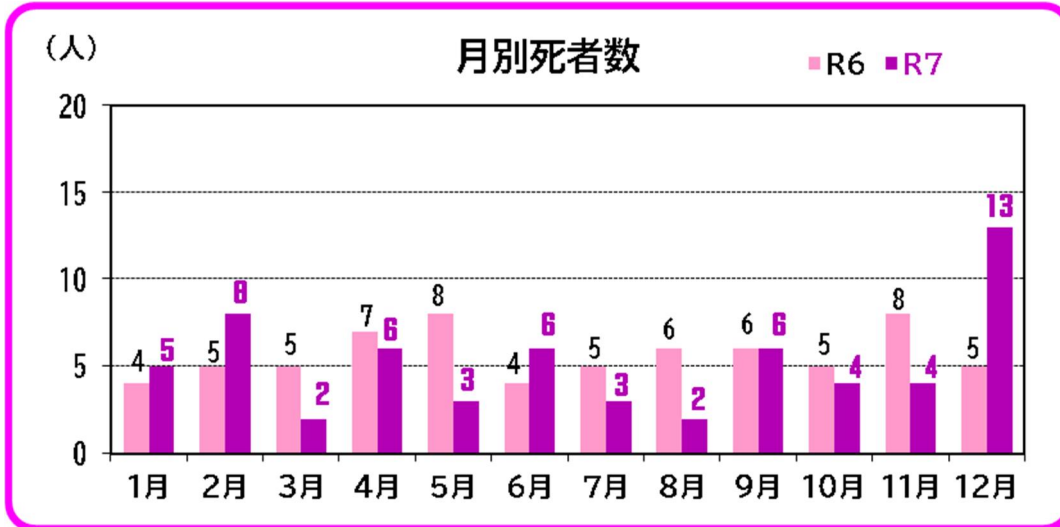
市町村別死者数では、千葉市での死者数(7人)が最も多くなっています。次いで、船橋市の死者数(5人)が多くなっています。

市町村別死者数



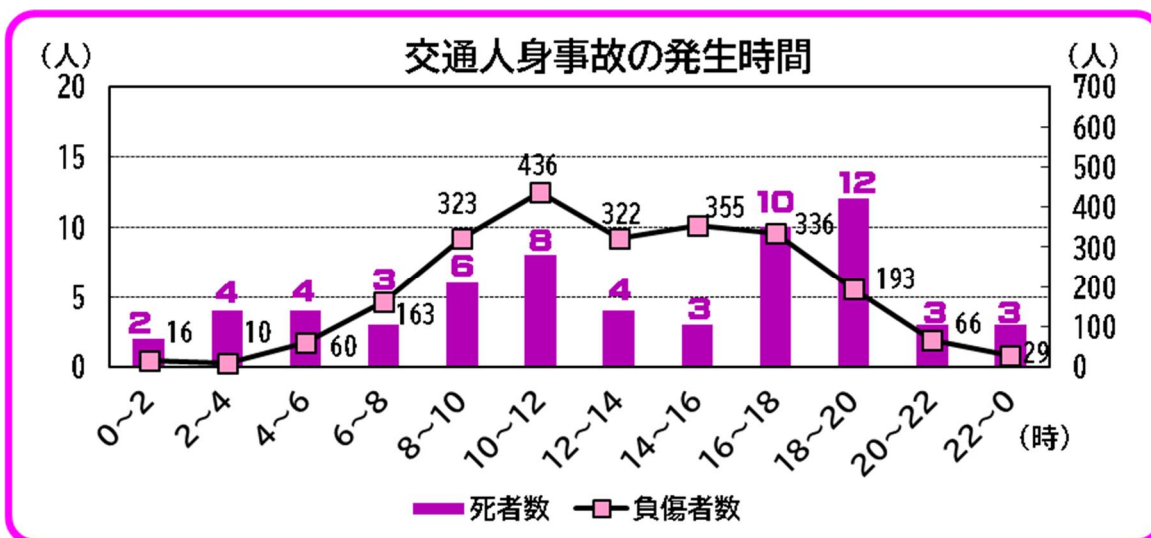
2 月別死者数

月別死者数では、12月の13人(21.0%)が最も多くなっています。



3 交通人身事故の発生時間

交通人身事故の発生時間では、死者数は18時～20時が最も多く、負傷者数は10時～12時が最も多くなっています。

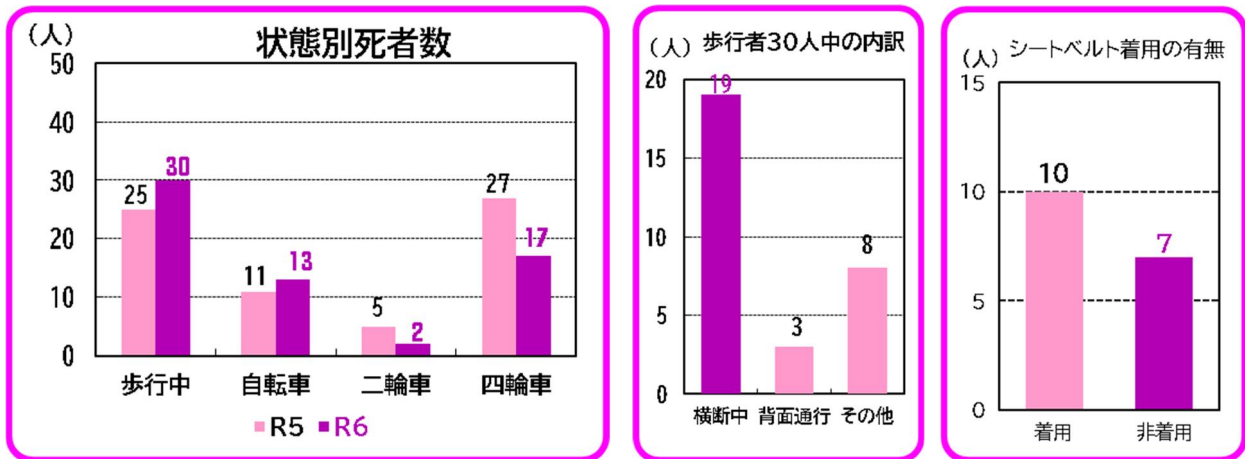


4 状態別死者数

状態別死者数では、歩行中の事故で亡くなった方が、高齢死者 62 人中 30 人 (48.4%)と最も多く、次いで四輪乗車中 17 人(27.4%)、自転車乗用中13 人(21.0%)、二輪乗車中 2 人(3.2%)の順となっています。

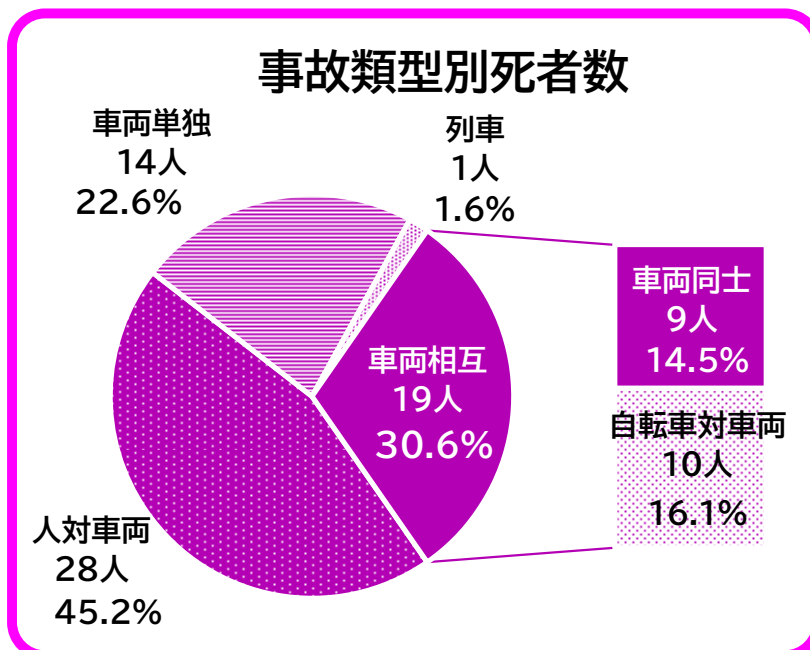
また、歩行中 30 人のうち19 人(63.3%)が、道路横断中の事故で亡くなっています。

シートベルト着用の有無では、四輪乗車中の事故で亡くなった方の約 4 割(17 人中 7 人、41.2%)がシートベルトを着用していませんでした。



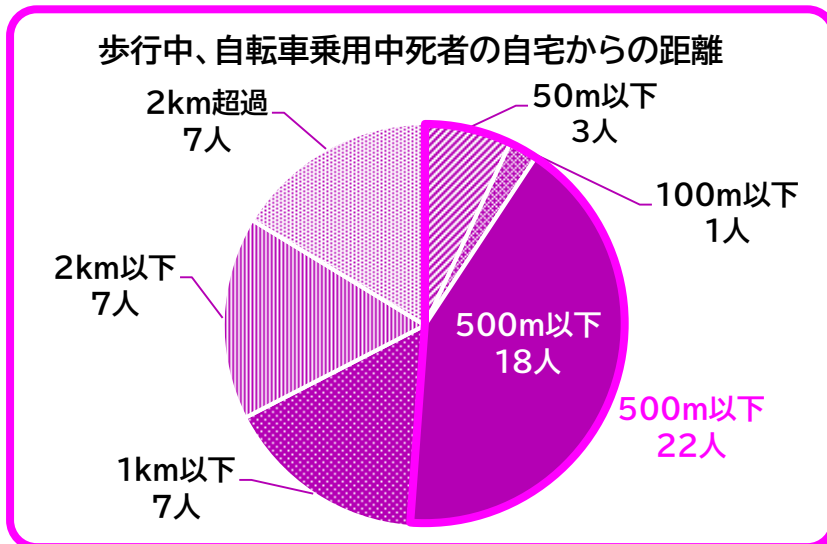
5 事故類型別死者数

事故類型別死者数では、人対車両が最も多く、全体の 5 割近く(28 人、45.2%)を占めています。



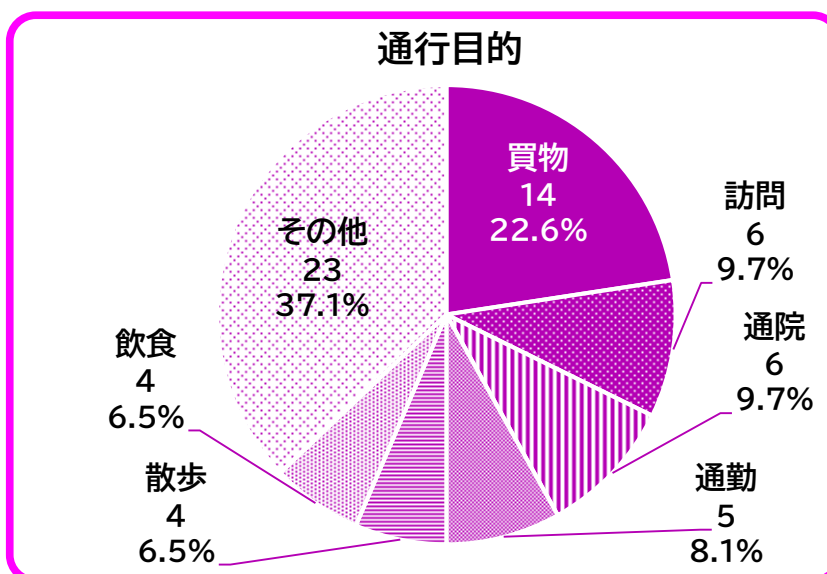
6 歩行中、自転車乗用中死者の自宅からの距離

歩行中、自転車乗用中死者の自宅からの距離は、自宅から500メートル以下（50メートル以下、100メートル以下及び500メートル以下を含む。）が、43人中22人と約5割(51.2%)を占めています。



7 通行目的別の死者数

通行目的別の死者数では、買物が最も多く14人となっています。



※「その他」は、業務、観光、ドライブ、徘徊等です。